

「松の芽摘み」を行いました

令和7年5月8日(木)

本校の校庭を取り囲む松の木は、創立当初から本校のシンボルで、かつては数百本あったと言われています。「松の芽摘み」は、昭和52年、勤労体験の一環として本校で始まった伝統行事です。コロナ禍のブランクはありましたが、令和4年度より復活し、近年は松の木の本数に合わせておよそ一人一本、3年次生が行っています。

行事の終わりに、美化委員長は「47年続いた学校の伝統行事を感じました。次の世代にも引き継いでいきたいです。」とあいさつをしてしめくくりました。



※ 中日新聞、岐阜新聞さんに取材いただきました。(中日新聞5月9日に掲載されました。)